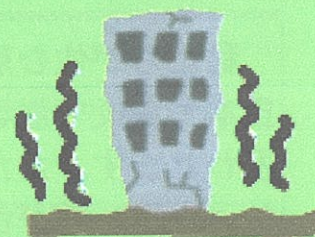
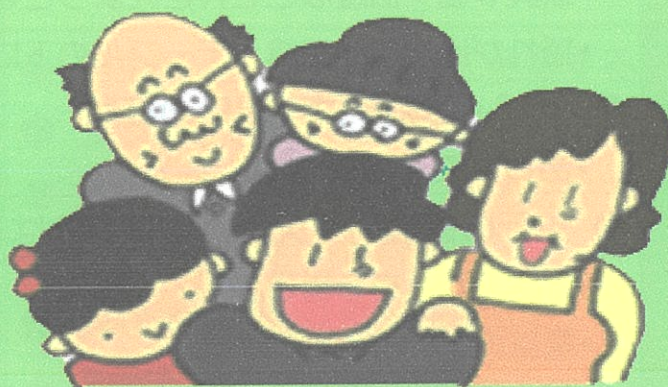


いざというときの 災害に備えて



つるいち防災マニュアル



災害に負けず生き抜くための助け合い活動



も く じ

1. 地震が起こったら 2
2. 水道・電気・ガス・電話などライフラインは 4
3. わが家・お隣の安否確認 5
4. これだけは備えておきましょう 6
5. わが家の安全対策と避難 7
6. 鶴が台一街区周辺の防災マップ 9
7. 災害発生時の連絡先 11

鶴が台一街区自治会

1 地震が起こったら

私たちが住む雇用促進住宅は、これまで震災が発生した阪神淡路大震災や東日本大震災で崩壊したとの報告は無く、震度6程度では崩壊の可能性は低いと思われます。ただ過信はできませんが、地震が発生したら落ち着いて行動しましょう。 **鶴が台一街区はわが家が避難場所（在宅避難）**です。

地震発生！ 	<ul style="list-style-type: none">● まず自分の身を守る<ul style="list-style-type: none">▶火を使っていたら素早く消す（ガスコンロ・ストーブ）▶揺れを感じたら窓や家具・食器棚のそばから離れる。▶家具や棚・仏壇などを押さえようとしない。▶揺れが治まるまで机・テーブルの下に身をかくす。● ドア・窓をあけて出口の確保<ul style="list-style-type: none">▶あわてて外にとび出さない
揺れがおさまったら 	<ul style="list-style-type: none">● 火元の確認 → 火災発生の場合は初期消火<ul style="list-style-type: none">▶ガスの元栓をしめる。▶電気のブレーカーを切る。● 靴・スリッパをはく<ul style="list-style-type: none">▶家の中でもガラスの破片が散乱し危険なため靴をはく。● <u>津波警報が発令されたら3階・4階に避難する。</u>
安否確認と火災発生の防止	<ul style="list-style-type: none">● 自分・同居者の安全確認し知らせる<ul style="list-style-type: none">▶玄関の外側に「無事です」カードを貼る。▶ベランダの手すりに無事を知らせるタオルを結ぶ。● 各階ごとに声を掛け合い「いつとき避難所」に集合● 階・棟ごとに安否確認（シートに記入する）<ul style="list-style-type: none">▶「無事です」カード、タオルの出てない所を確認する。▶高齢者、自力歩行困難者、要支援者の状況を確認する。● 近くに火災がおきていないか確認する<ul style="list-style-type: none">▶火災が発生していたら大声で知らせる。▶消火器、水バケツを使い初期消火を行う。● 各棟の状況を災害対策本部に報告する

*いつとき避難場所は当自治会集会所および公園です。

落ち着いたら

- 余震に注意しながら被害状況を確認する。
 - ▶水道・下水管の破損がないかしらべる。
 - ▶自宅で生活が可能かどうか確認する。
- 隣り近所、高齢者・要支援者の声かけ負傷者の救助
- 非常持ち出し品を準備・確認する。

災害対策本部 設置

【震度5強以上】の地震が起きた場合

自主防災会の災害対策本部を集会所に設置します。

*棟や団地内・市の状況の確認など情報収集をする。

*被災状況を把握し、市や管理事務所等と対策を協議する。

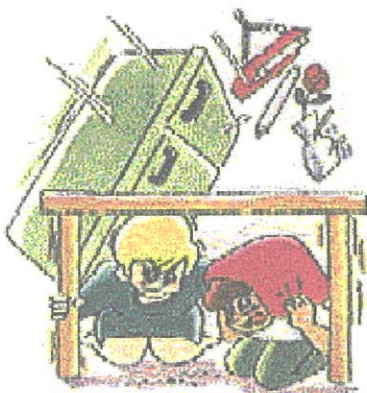
生活への備え

- 自主防災会からの情報に注意する。
- ラジオなどで正しい情報を確認する。
- 水・食糧などは蓄えてあるもので補う。
- 家族などの安否を確認する。
- 我が家の被害状況を調査する。

★ライフラインが復旧するまで隣近所で助け合う。

災害発生！まず身を守る

地震



机・テーブルの下に
身をかくす

津波



高台に避難する


火事



初期消火を終えたら
避難する

2 水道・電気・ガス・電話など ライフラインは？

こんな時どうする。

ガスが使えない	<ul style="list-style-type: none"> ●震度5程度以上の地震でガスは自動的に止まります。 ●マイコンメーターを復帰すれば使えるようになります。 ●復帰の方法は下記のガス復旧の方法を参照ください。
電話・携帯電話が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ●災害伝言ダイヤルなどを使いましょう。 ●避難所の小学校、中学校には臨時に災害用電話が設置されます。 <u>*家族が待ち合わせする場所を決めておきましょう。</u>
電気が止まったら	<ul style="list-style-type: none"> ●電気が止まったらコンセントは全て抜きます。 ●ブレーカーを切ります。 *ブレーカーは右図のようになっています。➡ ●電気が止まると水道も止まります。 
水道が止まったら	<ul style="list-style-type: none"> ●水道の蛇口を閉めメーターボックス内の元栓も閉めます。 (復旧した時に、水浸しにならないようするための処置)

▶ ガス復旧の方法

①

すべてのガス機器を止める。



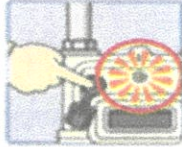
②

マイコンメーターの左上にある「復帰ボタン」のキャップをはずす。



③

復帰ボタンを奥までしっかり押して、表示ランプが点灯したらすぐに手を離す。



④

約**3分**待つ。マイコンメーター真ん中上の赤ランプの点滅が消えるとガスが使える。



●3分以上点滅が続くときは、ガス器具の止め忘れを確認して、③と④をやり直す

▶ 復旧の目安

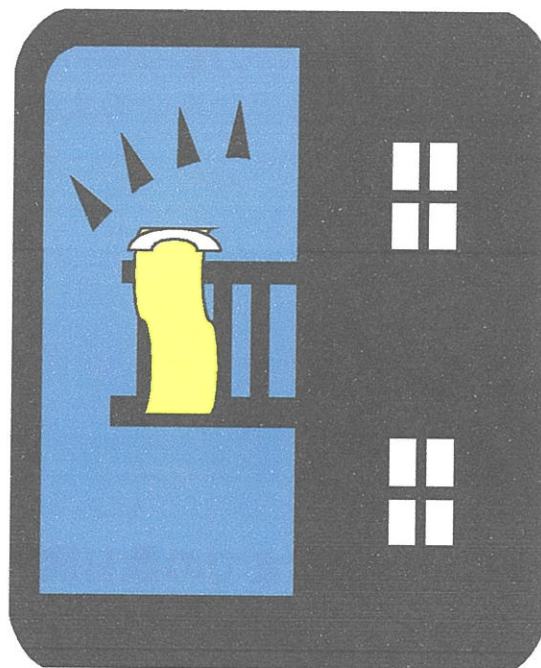
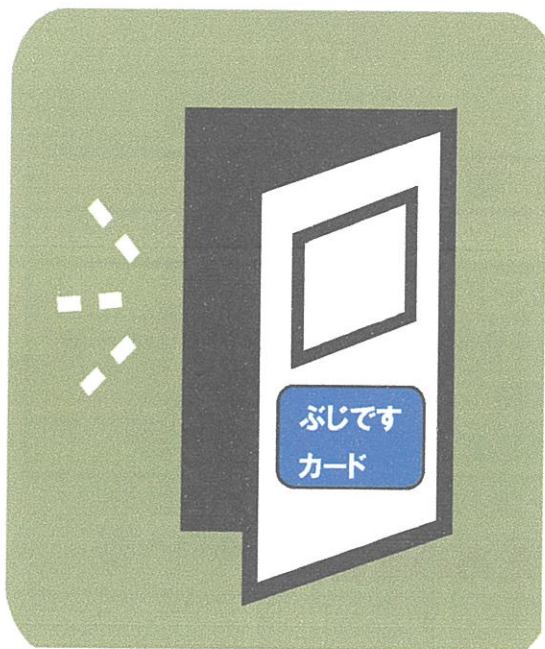
過去の大震災の事例

ライフライン	阪神淡路大震災	東日本大震災 (千葉県袖ヶ浦団地の場合)
水道	90日	10日
電気	6日	ほぼOK
ガス	85日	10日
電話	14日	ほぼOK
排水		1~2ヶ月

3 わが家、お隣りの安否確認

(1) 自分・家族の安全を確認し、『ぶじです』カードを玄関外側に貼りつけ無事を知らせる。

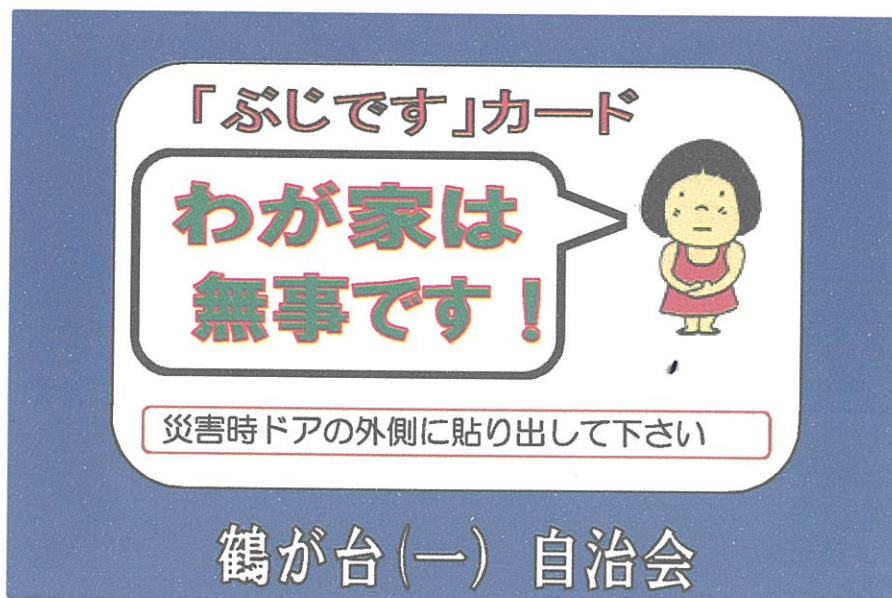
(2) 自分・家族の安全を確認し、ベランダの手すりにタオルを結び、無事を知らせる。



(3) わが家の安全が確認出来たら、お隣り並びの安否を確認し、いっとき避難所（当自治会公園）に集合します。なお、班長は階、幹事は棟ごとに安否を確認し安否確認シートに記入する。

☆ 『無事です』『タオル』が出てない所は声をかけ安否を確認する。

☆ 高齢者、災害時要救援者など介助が必要な人に声かける。




4 これだけは備えておきましょう



<input type="checkbox"/> 笛	<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 大判ハンカチ
<input type="checkbox"/> 現金	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> ポケットトイレ	<input type="checkbox"/> ティッシュ(ウェットティッシュ)
<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 小型懐中電灯	<input type="checkbox"/> アメ・チョコ等	<input type="checkbox"/>

(1) 避難する場合の最低持ち出し品

自宅から避難が必要な場合の大事な持ち物




分類	品物		
収納するもの	<input type="checkbox"/> リュックサック		
貴重品 	<input type="checkbox"/> 現金(小銭)	<input type="checkbox"/> 住基カード	<input type="checkbox"/> 手帳
	<input type="checkbox"/> 身分証明書	<input type="checkbox"/> 銀行口座番号の控え	<input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳
	<input type="checkbox"/> 健康保険証	<input type="checkbox"/> 携帯電話	<input type="checkbox"/> 権利証書
	<input type="checkbox"/> 運転免許証	<input type="checkbox"/> 家族の写真	<input type="checkbox"/>

(2) 災害復旧までの数日間を自活するための備蓄品



① 家庭に準備しておきたい物

(自宅の安全な場所に、できれば一か所にまとめて段ボールなどに収納)

分類	品物		
トイレ対策 	<input type="checkbox"/> 便・尿凝固剤、消臭剤	<input type="checkbox"/> トイレットペーパー	<input type="checkbox"/> 大型ごみ袋
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	◆ 大地震が起きたらトイレ・風呂などの排水は禁止(安全確認まで) ◆ 非常用トイレセットを備えましょう		
水 	<input type="checkbox"/> 飲料水(1日1人3ℓ×家族の人数×7日分)		
	<input type="checkbox"/> 生活用水・消火用水(残り湯など浴槽にくみ置き)		
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
◆ ただし排水管の安全確認前は排水禁止			
食料 	◆ 家族の7日分の食糧・非常食 (普段使用している食料品や日用品を多めに備え、古いものから順次使いながら買い足していくことが大切です)		
	<input type="checkbox"/> 米	<input type="checkbox"/> そうめん(短時間に茹でられて残り湯も活用)	
	<input type="checkbox"/> レトルト食品	<input type="checkbox"/> 菓子(ビスケット、アメ、チョコ)	
	<input type="checkbox"/> 缶詰	<input type="checkbox"/> 調味料	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

② 日常的に備えておきたい物

(災害時に関係なく日常からこれだけは備えておきたいものです。)

分類	品物		
日用品 その他	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> ろうそく
	<input type="checkbox"/> 予備電池	<input type="checkbox"/> 時計	<input type="checkbox"/> ビニールシート
	<input type="checkbox"/> ポリタンク・バケツ	<input type="checkbox"/> ポリ袋	
調理器具	<input type="checkbox"/> 卓上カセットコンロ	<input type="checkbox"/> ナイフ・缶切り	
	<input type="checkbox"/> 予備のポンペ	<input type="checkbox"/> 紙コップ・紙皿	
	<input type="checkbox"/> マッチ・ライター	<input type="checkbox"/> 割り箸	
救急医療 身を守るもの	<input type="checkbox"/> 救急箱	<input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> お薬手帳
	<input type="checkbox"/> 医療品	<input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 軍手
	<input type="checkbox"/> ヘルメット	<input type="checkbox"/> 眼鏡・補聴器	<input type="checkbox"/> 衛生用品
	<input type="checkbox"/> 衣類	<input type="checkbox"/> ロープ・ビニールひも	

5 わが家の安全対策と避難

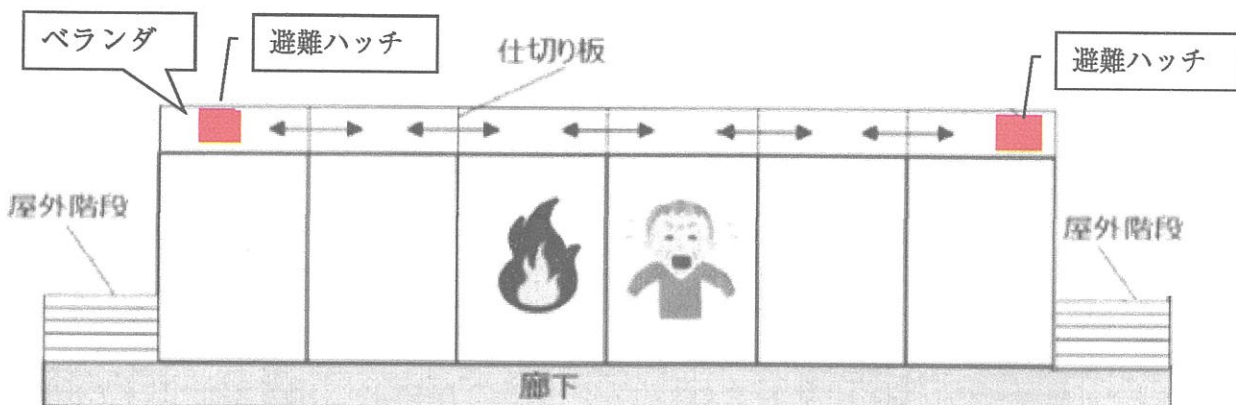
鶴が台一街区は「わが家」が避難場所(在宅避難)です
災害が起きても、わが家で住み続けられるよう日頃から工夫し、災害への準備、対策をしておきましょう。

- ① 家具や冷蔵庫は固定しましょう。(留め具、ワイヤーなどで固定)
- ② テレビやパソコンなど飛ばないように固定しましょう。(固定用ジェル)
- ③ 窓や食器棚のガラスの飛散防止をしましょう。(透明ビニールテープ)
- ④ 寝室には背の高い家具は置かないようにしましょう。
- ⑤ 避難路を確保しましょう。(通路、ベランダ、避難ハッチには物を置かない)
- ⑥ 消火器を備えましょう。

避難と救出経路

5号棟と8号棟のベランダ側には避難ハッチが設置されています。

【2号棟・6号棟・7号棟には避難ハッチはありません。】



避難と救出は

- ① 2号棟、6号棟、7号棟は、屋外階段及びベランダの仕切り板を破りお隣から廊下に出て階段を使って避難できます。
- ② 5号棟、8号棟は各階のベランダの仕切り板を破り1号室、5号室側に避難ハッチがあります。このハッチから避難出来ます。

★仕切り板、ハッチの所には絶対に物を置かないでください。

津波・大規模火災時の避難所は

- ◆ 津波警報が発令されたら3階・4階の上層階または高台に避難
- ◆ 大規模火災が発生したら広域避難所に避難

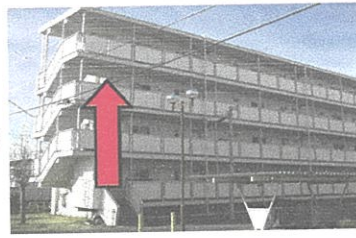
津波警報が出たら

津波警報発表



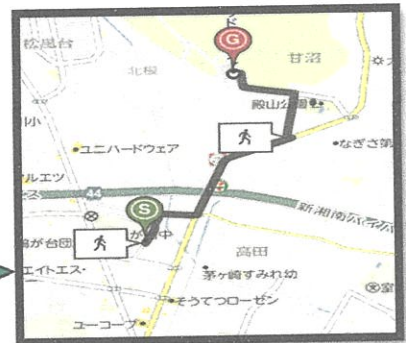
大津波の警報が発表されたら

団地の上層階に避難する



各棟の3階・4階に一時避難します。

広域避難所に避難



スリーハンドレッドが広域避難所です。

火災が発生したら

周りに知らせる



大きな声、音を出して周囲に知らせ

初期消火をする



消火器は各廊下に設置されています。

避難所に避難



天井まで炎が届いたら避難しましょう。



大規模火災になったら広域避難所に避難する。

6 鶴が台一街区周辺の防災マップ

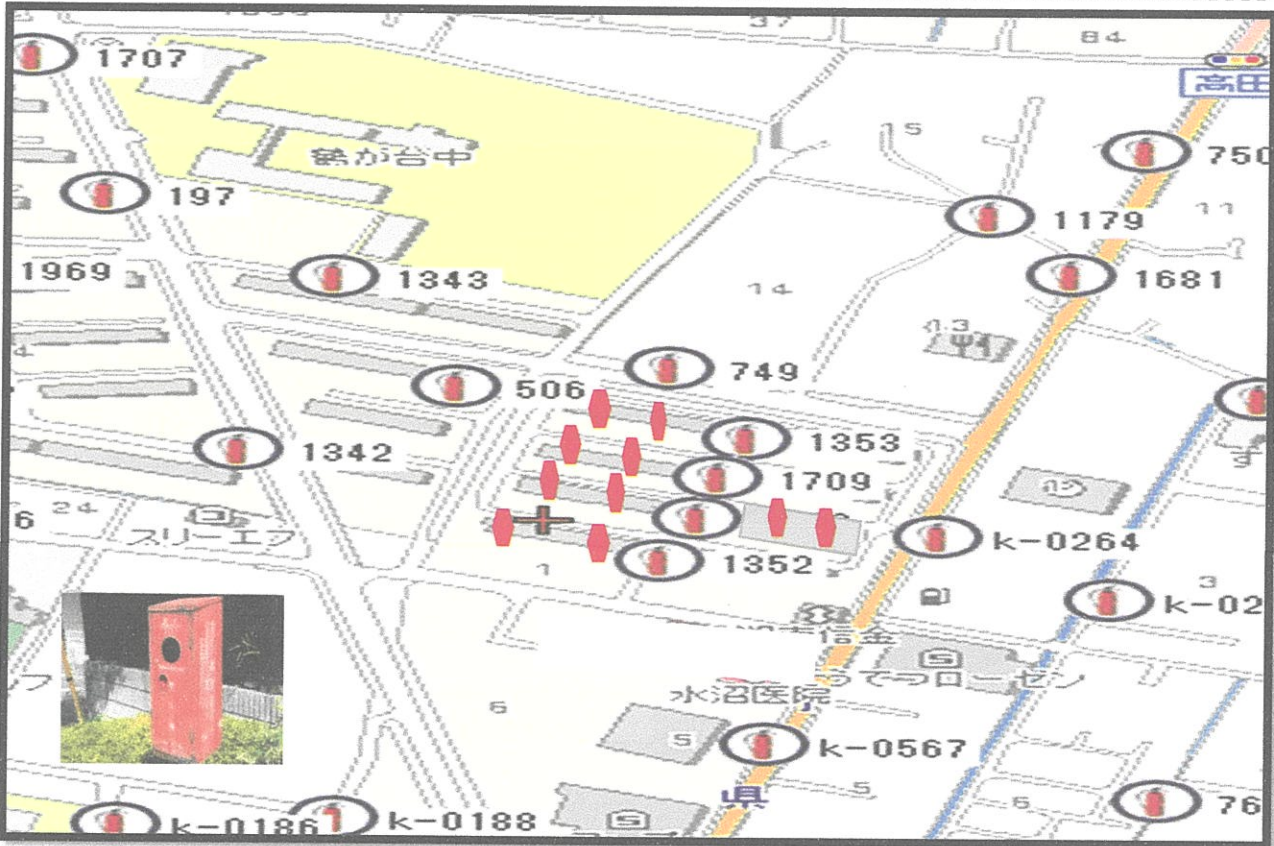


消火器設置場所

団地内消火器設置マップ

-  → 中央通り沿いに茅ヶ崎市が設置した街頭消火器が4個あります。
-  → 各棟の各階に2個ずつ消火器が設置されています。

★火災が発生したら近くの消火器を取り外し直ちに初期消火を行いましょう

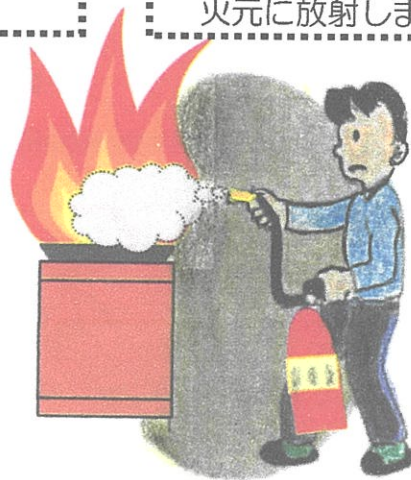
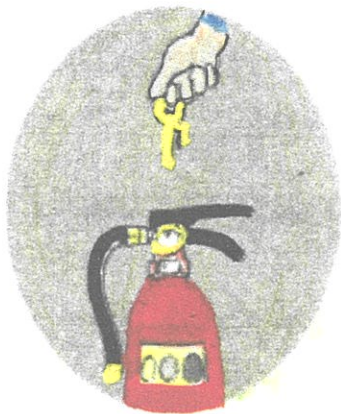


消火器の使い方

① 黄色の安全ピン
を引き抜きます

② ホースを外し、先端
を火元に向けます

③ レバーを強く握り
火元に放射します



7 災害発生時の連絡先

日常の水道・ガス・電気等に関する緊急修理は管理事務所から配布されている業者が連絡先になりますが、災害発生時は、各業者対応は困難とされますので、神奈川湘南集中管理事務所に連絡ください。

神奈川湘南集中管理事務所

*開設移管 : 月曜日～金曜日の9:00～17:00

電話 0467-32-4724

*開設時間外(火災、事件・事故、自然災害等による緊急用)

電話 ~~070-2198-3413~~

緊急以外は開設時間内に

公共機関

茅ヶ崎市役所	0467-82-1111
警察署	110 (0467-82-0110)
消防署(携帯電話でもOK)	119
神奈川中央交通タクシー	0467-51-2151
富士見交通タクシー	0120-88-1243
香川第一交通タクシー	0467-51-1119
相模中央交通タクシー	0120-77-7701
茅ヶ崎市立病院	0467-52-1111
茅ヶ崎中央病院	0467-86-6530
湘南東部総合病院	0467-83-9111

わが家の緊急時の連絡先

家族 (娘・息子)

名前 _____ 連絡先 ☎ _____

親族 (親・兄弟)

名前 _____ 連絡先 ☎ _____